

丹南農林だより

はじめまして(新規就農者紹介)



山崎昌則さん

昨年、池田町のファームハウスコミュニティにて研修を行い、今年から池田町角間地区で米づくりを始めました。もともと池田町出身ですが、地元集落やコミュニティの方々にお世話になり、4haの水田を集めることができました。現在、池田町内で多く取り組まれている「生命に優しい」減農薬、減化学肥料の特別栽培に挑戦しています。まだまだ勉強中ですが、経験を積んで地域の担い手として認められるようになるのが目標です。

矢船集落営農組合の紹介

矢船集落営農組合(組合長:川崎善雄氏 越前市矢船町)は、平成20年8月31日に設立されました。約1年をかけ矢船の農業を考える会、続いて矢船集落営農準備会で検討し、協業という経営形態を選択しました。

組合員は13名で約14haの経営です。水稲やソバの生産は実質本年からとなり、水稲の直播、特裁米、飼料用米、そして特裁ソバに取り組むなど積極的に経営を展開しております。大型機械での作業や共同での栽培など全てが初めてのことばかりですが、基本に忠実な栽培を目指し、組合員が一丸となり生産性向上と集落の活性化に取り組んでいます。



矢船集落営農組合のみなさん

平成21年9月16日

No.29

丹南農林総合事務所

越前市上太田町41-5 TEL(0778)23-4545
丹生分庁舎 越前町内郡14-36 TEL(0778)34-1790
URL <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/tan-noso/>
E-mail tan-noso@pref.fukui.lg.jp



健康長寿な福井です。



特別栽培農産物の 認証マークが新しくなりました

平成 21 年度から福井県特別栽培農産物の認証マークを変更し、
農薬や化学肥料がどの程度削減されているか県花である「スイセン」
の花の数と位置で表した親しみのあるものとなりました。

認証区分	これまでの認証マーク	新しい認証マーク	農薬および化学肥料の使用
①			農薬や化学肥料を使用しないで栽培した農産物 (スイセンの花が4つ)
②			農薬を使用しないで、化学肥料を通常に比べ5割以上削減して栽培した農産物 (// 3つ)
③			農薬を通常に比べ5割以上削減して、化学肥料を使用しないで栽培した農産物 (// 3つ)
④			農薬や化学肥料を通常に比べ5割以上削減して栽培した農産物 (// 2つ)

新しい認証マークは平成 21 年 9 月 1 日から使用できます。

また、旧認証マークも平成 21 年 9 月 1 日から 1 年程度使用できます。

特別栽培農産物の生産登録されている農家の皆様へ

生産登録と異なった栽培方法に変更（肥料や農薬の変更など）
する場合や、圃場を変更する場合には、事前に変更申請を行っ
てください。



元気な森をつくらう!



間伐を進めるためには、道が必要!?

間伐をするためにはお金がかかります。今の厳しい経済状況では、なかなか森(山)に投資をするということも難しいことなのかもしれません。

そこで、丹南農林総合事務所では「木を伐る 木を使う」をスローガンに、森林所有者のみなさんの負担がなるべく少なくなる(あるいは収入を得る)ための取り組みを進めています。木材が安値となっている現在、収入を得るためには、低コスト(安い費用)で木を山から出すことが必要です。低コスト化のやり方はいろいろありますが、今回、ご紹介するのは「作業路」です。

○作業路の特徴

道を作ると山がなくなってしまうと思われる方もいらっしゃるのでは?作業路は今までの道づくりとは違い、木材を山から林道まで出してくることを目的としているので、機械が通るだけの幅で作っていきます。つまり、幅がせまいことが特徴となっています。イメージ的には、立っている木の間を通り抜けていく感じです。軽トラックが通れる道ですので、山の管理にも利用できます。



作業路を活用した木材の搬出



木の間を縫うように走る作業路



作業路への理解を得るための研修

今、丹南農林総合事務所では、新しい考え方による「作業路」を普及するため、研修会を開催しています。作業路は、低コスト化の切り札ともいえるため、今後、管内に作業路を増やしていくための様々な活動を進めていきます。

山の勉強をしてみませんか!



県外の美林を視察

「山の手入れが必要なのはわかった・

でも、一人では、何から始めればいいのかわからない」

という方はいらっしゃいませんか。南越林業経営研究会では、林業に関する勉強会(県内外への先進地視察、間伐講習会等)や情報交換会を行っています。昭和43年に設立されたグループで、会員は現在32名です。森林を所有されている方、山に関心のある方でしたらどなたでも入会可能です。(年会費3千円) みんなと一緒に林業の技術を身につけませんか!

お問い合わせ 丹南農林総合事務所
林業部 林業・木材活用課まで



コニーちゃんの造林事業よもやま話 第2話

○森を元気にするためには?

みなさんこんにちは!

木を伐ることは悪いことだと思いますか?熱帯雨林の破壊や都市開発などをイメージすると「木を伐るのは悪いことだ!」「自然はそのままにしておくべきだ!」などと思う人もいるかもしれません。

だけど、福井県には人が植えたスギがたくさんあります。このようなスギの林は人の手入れが必要なのです。手入れされていないスギの林は、混みすぎてよく成長できず、また、太陽の光が地面まで届かないので地面に草が生えません。すると、地面を守る草がないので、雨が降ると大切な森の土が荒れてしまいます。

そうならないように、森を元気にするためには、木を伐ることが必要なのです。この作業を「間伐」といいます。もちろん、わたしたち丹南農林総合事務所でも、森を良くする間伐を積極的に進めています。エッ?どうやって間伐を進めているかって・・・?

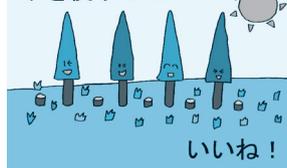
(次回へつづく)

木をきらないと



実は、よくない

木を使うって



いいね!

鳥獣害対策の取り組み（越前町）

例1 アライグマ侵入防止柵 効果あり！

平等集落ではアライグマによる農作物被害が問題となっていることから、埼玉県で考案されたハクビシン防止柵『白落くん』を試験的に設置しました。

昨年は収穫できなかったスイートコーンですが、今年は被害を受けることなく収穫できました。



試験的に設置した『白落くん』

例2 山ぎわ緩衝帯でイノシシをストップ

熊谷集落では、野生獣が農地に出てこないように、農地と里山の間に伐採木とネット柵を組み合わせた緩衝帯を設置しました。

昨年までは、6月頃から水田を荒らされることがありましたが、今年の被害は非常に少なくなり、イノシシに対する効果は高いと考えられます。



例3 持ち寄った電気柵で集落全体を囲いました

八田集落では、イノシシ被害を防止するため個人ごとに電気柵を設置してきましたが、設置していないところが新たに被害を受ける『いちごっこ』を繰り返していました。集落の話合いで「被害を減らすには集落全体を囲うことが効果的で安上がり」ということで個人の電気柵を持ち寄り、集落を囲うのに不足する長さの電気柵を新設することで、経費面での負担も少なくすることができました。

【イノシシ対策チェックポイント】

✓ 電気柵の点検で被害を防ぎましょう

- ・電気柵の侵入は飛び越しより、もぐり込みが大部分です。下線の高さは20cmを守りましょう。
- ・電線のたるみ、支柱の倒伏、草による漏電が無いよう点検を行いましょ。



✓ 周辺環境の手入れで圧力をかけましょう

- ・藪などはイノシシが安心して侵入する道となります。少しずつでも刈り払うとイノシシは警戒します。
- ・稲の2番穂や作物残渣の放置は、餌付けと同じです。翌年の被害を抑えるためにも、早期にすき込みましょう。

農事組合法人の設立や定款の変更等変更等をされた際には 県への届出をお忘れなく

農事組合法人において法人の設立や定款の変更等をされた際には、農業協同組合法に基づき県への届け出が必要です。

事項	提出書類	届け出をいただく期限
設立	設立届	成立の日から2週間以内
定款の変更	定款変更届	変更の日から2週間以内
合併	合併届	合併の日から2週間以内
解散	解散届	解散の日から2週間以内
清算	清算終了届	清算終了後すみやかに

※様式や添付書類につきましては、丹南農林総合事務所農業経営支援部までお問い合わせください。
(TEL：0778-23-4545 内線263)

加工用野菜の生産・出荷の取組み盛ん

漬物加工施設「おこもじ屋」がオープンした池田町では、その原材料となる加工用野菜の生産・出荷にも力を注いでいます。7月14日に赤シソ、ナス、ウリ、7月30日にミョウガ、ズイキの加工に向けた出荷目揃会が行われ、約40名の会員が出席しました。多くの野菜は夏に旬を迎えますが、量が多く生鮮野菜として売れ残ることがあります。漬物加工という新用途により旬の美味しい野菜を無駄なく活用できて、生産者にとって作る喜びが倍増します。



地元の野菜を使ったお漬け物の数々

経営体育成基盤整備事業 平成20年度に3地区が竣工

地区名	武生南部地区	武生南部第2地区	北中山北部地区
地係	越前市 国兼町	越前市 大塩町、上小松町	鯖江市 磯部町、戸口町、中戸口町
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・用水路のパイプライン化 ・排水路の改修 ・暗渠排水の整備 ・集落排水、集落道路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・用水路のパイプライン化 ・排水路の改修 ・暗渠排水の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほ場の大区画化 ・用排水路のパイプライン化 ・農道の舗装 ・暗渠排水の整備
工期	平成12年度～平成20年度	平成13年度～平成20年度	平成15年度～平成20年度
写真	 <p>国兼加圧揚水機場</p>	 <p>上小松配水槽</p>	 <p>竣工式の様子</p>

平成21年度

丹南農林総合事務所優良工事事業者所長表彰式

平成21年7月30日に、今年の丹南農林総合事務所優良工事事業者所長表彰式を行いました。

この表彰は、農林業の基盤整備と農山村地域の振興を図るために当事務所が発注した農林工事が対象で、平成18年度から設けられ、今回、高度な技術と創意工夫に心がけ、現場管理等に配慮するなど、優秀な成績を収めた次の事業者3社を表彰しました。

表彰式の様子▶



施工業者名	工事名	施工地係
(有) 矢部工業	平成20年度予防治山工事	越前町 厨 (古谷)
(株) 四ヶ浦建設	平成20年度予防治山工事	越前町 厨 (南布山)
(株) ササキ工業	経営体育成基盤整備事業 (土地総) 松ヶ鼻南部地区 平成20年度第2号工事	越前市 庄田町

みんなが主役!! ポスト植樹祭に向けて

来年6月に越前市安養寺「太陽の広場」で、ポスト植樹祭を開催します。丹南農林総合事務所では、ポスト植樹祭に向けた県民運動「元気な森づくり」や「花と緑にあふれたふるさとづくり」などを実施していきます。



フットパスに参加しませんか

フットパスとは、「自然の中を歩くことを楽しむための散歩道」のこと。本年度は3コースでフットパス体験会を開催します。地域の自然や文化、歴史などとふれあいながら、山の道を歩いてみませんか。

開催日	コース名	地区名	コースの特徴
平成 21 年 10 月 18 日 (日)	馬借(西)街道	越前市坂口地区	日本海の展望、馬での輸送に使われた街道
平成 21 年 10 月 25 日 (日)	越知山	越前町大谷寺地区	花立峠からブナ林を抜けて越知山へ
平成 21 年 11 月 1 日 (日)	三里山	越前市北新庄地区	歴史を巡る旅へ 三里山の尾根を縦走



木漏れ日の中を歩く(馬借街道)



眺望を楽しみながら一休み(三里山)



秋の山道を駆け抜けるランナー

林道マラソン&ウォークin越前市

林道は、林業のための道……。それだけではもったいない。林道を走ったり歩いたりして、すばらしい眺望や豊かな自然を楽しんでいただければ……。林道で健康な汗を流しませんか。 **申し込み期間: 平成 21 年 8 月 3 日～10 月 9 日**

開催日	区分	定員	参加費	コース
平成 21 年 11 月 1 日 (日)	マラソン	100 名	2,000 円	金華山グリーンランド～矢良巢岳折り返し
	ウォーク	150 名	300 円	坂口小学校～金華山グリーンランド

竹林で美しい地域づくりを!!

丹南農林総合事務所では、地域において自主的な竹林整備が進むように、道路沿いなど多くの人の目にふれる竹林をモデル的に整備する取り組みを行っています。

かかる費用の全額を県が負担しますので、地元には負担はかかりません。これを機会に竹林をきれいにして「花と緑にあふれたふるさとづくり」を進めてみませんか。

各地区・集落(区長等区・集落の代表者)からの応募により、実施箇所を選定します。詳しくは、チラシ(市町を通じて区・集落へ配布)もしくは丹南農林総合事務所HPをご覧ください。



竹林が明るくなり地域も明るく!